



町の人口	
(昭和61年5月31日)	
前月比較	
男	3,959 (-2)
女	4,394 (+2)
計	8,353 (0)
世帯数	2,741 (+6)

町ぐるみ、みんなでつもう差別の芽 (7月は同和問題啓発強調月間です)

町民のみなさまへ

方城町同和教育推進協議会
会長 中島義章

わたしたちは、常に平和で健康で、文化的な生活をしたいと願っています。それにもかかわらず、わたしたちのまわりには、いろいろな形で人権侵害や不当な差別の事実があります。部落差別をなくすことは、他の多くの差別をなくし、民主主義の土台をゆるぎないものにするにつな갑니다。そこに同和問題が単に同和地区の人びとだけの問題でなく、町民みんなの問題であり、わたしたちひとりひとりが、同和問題をさらに正しく知るための学習に参加し、同和問題を本当に自分の問題として考えるようになりたいものです。このため福岡県下全市町村で毎年7月を『同和問題啓発強調月間』と設定し、総力をあげてこの問題の早期解決にむけて、さまざまな取り組みを展開します。方城町も、次のような諸行事を行いますので、みなさまの積極的なご参加をお願い致します。

昭和61年度同和問題啓発強調月間行事計画表

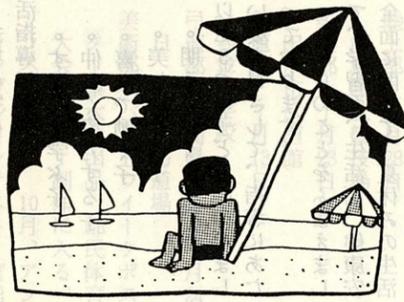
行事及び行事概要	行事内容				
	実施月日	場所		対象者	実施主体
街頭啓発 各地域において朝の出勤者に街頭啓発を実施する。	7月1日 午前7時	町内各地 7ヶ所	町長 実行委員 行政(課長)	全町民	行政部会 (総務課)
講演会 町民の同和問題に対する正しい認識と理解を深めるため全町民を対象に実施する。	7月13日(日) 午前10時	町民体育館	講師 田中松月氏	全町民	町同推協
行政職員研修 行政職員の同和問題解決に対する資質の向上を図る。	7月22日	中央公民館	講師 県教委 古川先生	行政職員全員	行政部会 (総務課)
就学前教育研修会 講演会を行う。	7月12日(土)	中央公民館	講師 亀井澄子 先生	* 保母職員 * 学校教職員	就学前教育部会
啓発・広報 * 横断幕・懸垂幕 * 町広報紙 * ポスター	期間中	役場 中央公民館 隣保館 歩道橋		全町民	教育委員会
社会教育関係団体の研修 社会教育に関係する団体の人々の同和問題に対する理解を深める。	7・8・9 月協議の上	中央公民館	協議の上	団体所属の人	教育委員会
県主催講演会 県の主催する講演会に参加し理解に努める。	7月24日	田川文化センター	講師 小林初枝 さん	町同推協	教育委員会
地区公民館長の研修会 町内啓発の推進協力者としての理解を深めるための研修	12月 人権週間 に合わせて	中央公民館		各地区の地区 公民館長	教育委員会
人権作文・ポスター 児童・生徒の人権作文・ポスターの作成と表現活動を通して同和問題の理解と関心を深める。	〃	学校	教師	児童・生徒	学校部会
その他 町内企業・登録業者・制度・事業就労者研修	協議の上		協議の上		行政部会 (同和対策室)

夏休みを楽しくすごすために 方城中学校・伊方小学校・弁城小学校

◎9月1日(月)には、全員元気なすがたで会いましょう◎

- ・川や池でのすいはいは、ぜったいにやめましょう。
- ・あそびに行くときは、行きさき、友だち、かえる時間をとどけて行きましょう。
- ・じてんしゃの二人のりや、とうのり(校区外)はやめましょう。
- ・花火は、おとなとしましょう。
- ・町外には、子どもだけで遊びに行かないようにしましょう。

- ・夜間の外出(六時以後)は保護者同伴であること。
- ・外泊は絶対してはいけない。
- ・盆踊りは十時半までとする。



重点指導項目

- わたしの家庭では守ります!!
- ◎小学生は友達だけで町外へだしません。(小学校)
 - ◎夜間の外出・外泊・夜あそびはさせません。(中学校)
 - ◎バイクの暴走運転はさせません。(高等学校)



方城中学校

- 一、規律ある生活
 - ・自分にあつた計画表を作成し、確実に実行しよう。
 - ・常に中学生としての自覚をもつて行動しよう。
- 二、生活一般
 - ①学習
 - ・不得意な教科は、この機会に十分復習しよう。
 - ・日ごろ出来にくい研究や創作活動、読書に力を入れよう。
 - ②外出は中学生らしい服装であること。
 - ・行先・用件・帰宅時間をはっきり家人に告げ、許可を得て外出しよう。
- 三、遊び
 - ・危険な遊びや危険な場所には近づかないようにしよう。
 - ・ゲームセンターやパチンコ店の出入りは禁止する。
 - ・自転車・バイク等の無免許運転はしない。
 - ・五、こづかい
 - ・むだづかいをしない。
 - ・友達同志で金銭の貸借をしない。

伊方・弁城小学校

- 一、まい日かならずべんきょうしよう。
- 二、まい日きまり正しくすごしましょう。
- ・早寝、早起き、昼ねをしましょう。
- ・おてつだいをきめて、じつこうしよう。
- ・夕がたは、ご六時までには、いえにかえりましょう。
- ・ぼんおどりの、れんしゅうは、九時半まで、ぼんは十時半までにはやめましょう。
- 三、あぶないあそびは、やめましょう。

「子育ては親の背中」で感動を

方城町青少年育成町民会議 会長 稲富 明

最近はその「いじめ」非行の低年令化等が進み、その対策に国をあげて取組まなければならないような大きな社会問題になっております。方城町でも例にもれず、いろいろな問題をかかえてその対策に苦慮しているような現状です。

子育てについて、子どもは「親の心を演ずる名優である」とか「子どもは親の姿を写す鏡である」と昔から諺で言い伝えられておりますように

子どもが現代社会の縮図のように思われます。子どもの非行を直すには、「原因を直さなければ結果は直らない」の原則に従わなければ「百年河清を待つ」のとえのように、非行を直そうと努力しても、ますます子どもを傷つけて行く結果になりかねません。問題児は、理論やお説教や注意では直らないと言われております。

約二千年前の聖哲ソクラテスは「汝の中の自己を知れ」と強く教えられております。自己の中の自分を知ることが大変難しいことです。親として、夫として、妻として自分を見直すとき、本当の人間として如何に粗末で不十分な己であったかを、苦勞の中から体験的に悟り得て、謙虚な心になった人のみが大切な人の心を直し、又、子どもの心を正せる人になると先哲は教えております。

私自身大いに反省させられている毎日ですが、今一度「家をして万事成る」の千古の名言を思い直すときではないでしょうか。

青少年育成町民会議

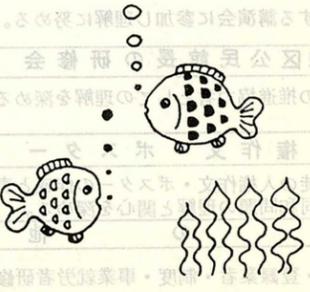
昭和61年度事業計画

- 重点目標
1. 家庭、学校、社会の連携の強化。
 2. 組織、各機関、団体それぞれの青少年育成活動の充実。
 3. 町民会議の趣旨の理解、浸透の努力と事業の計画。
- 具体的活動内容
1. 青少年育成大会
 - ・ 期日 昭和61年11月
 2. 方城町中央公民館
 - ・ 対象 青少年育成町民会議、婦人会、子ども会育成連絡協議会、小中学校PTA、その他関係町民
 - ・ 内容 意見発表
 - 小学生「あいさつ」とことばづかい
 - 中学生「いじめについて」
 3. 福岡県青年の船乗船者体験発表
 - ・ 講演 「青少年の健全育成について」講師未定
 - ・ 作文を募集して、発表会、広報紙にのせる。
 - ・ 各種団体の主催する事業に積極的に参加する。
 - ・ 社協の主催する町内美化運動
 - ・ 中学校PTAの主催する非行防止講演会など。
 - ・ 夏休み街頭補導
 - ・ 広報紙による積極的な啓発活動
 - ・ 水禍防止パレード7月5日

方城町青少年育成町民会議と、三校PTA連絡協議会合同で夏休み期間中昼間・夜間補導を行ないます!! 町民の皆さんの御協力をお願いします。

「あいさつ運動」(方城町立三校の年間指導目標)のご協力を!!

- おうちのなかで みんなに
- 「おはよう」
 - 「こんにちは」
 - 「こんばんは」
 - 「おやすみ」
- 近所の人も 町内の方々にも
- 「おはようございます」
 - 「こんにちは」
 - 「こんばんは」
 - 「あいさつ」の一声をかけて下さい。



学校だより

今、小・中学校で取り組んでいるいろいろな行事を紹介いたします。

伊方小学校

伊方小学校では、学校生活の節として、いろいろな行事を計画しています。子供達が一番緊張する儀式的行事、また楽しみにしている遠足旅行的行事、体育的行事など一年中次から次にいろいろな行事がありますが、本校の行事の中で特徴的な行事を三つ紹介したいと思います。

月曜集会

月曜日の一校時三十分間

《月曜集会》
いつもいろいろな先生のお話や各学年の児童発表それにレクリエーションなどがあり楽しい月曜集会。(昨年の3年生の児童発表)



いろいろな先生方が出て、楽しい学校生活をすごさせるために、いろいろなお話をします。また、話だけでなく、一年から六年まで、それぞれアイデアをこらして、児童発表を行います。ときには、楽しいレクリエーションもあります。

《全校音楽集会》
全校児童が体育館に集まり、全校合唱や合奏で楽しい全校音楽集会



全校の五百六十名が体育館に集まって、それぞれの学年

で一ヶ月近く自分達の受け持ちの楽器を練習して、全員で合奏や合唱を行います。最初は、上手にできるか不安でしたが、みんな、一、二回練習しただけで、音楽の先生の指導ですばらしい音楽集会になるようです。

《愛郷作業》
町内のおじさんやおばさんたちと一緒に汗を流した愛郷作業。(福祉協議会の美化運動に参加した5年生)



町内のおじさんやおばさん達といろんなことを話しながら、みぞの中のカンやゴミを拾っている姿は、大変ほほえましく見えます。

弁城小学校

弁城小学校では、日頃の生活指導において、

- ・すすんで学ぶ子
- ・仲良く協力する子
- ・喜んで働く子
- ・美しい心の子

。明るくたくましい子
以上5つの子どものものぞましい姿を目指して、指導にあたってまいります。

これらのことをふまえて、学習面、生活面、健康安全面に関して、夏休みの生活指導を行います。(詳しくは、ページをご覧ください。)保護者の方や地域の方々のご協力をお願いいたします。

では次に、本年度の主な学校行事について説明させていただきます。

- 一学期
・一年生歓迎遠足
- ・修学旅行(6年)
- ・じゃがいもほり大会
- ・水泳大会
- ・林間学校(5・6年)

- 二学期
・夏休み作品展
- ・運動会
- ・コイトり大会
- ・伝承遊具作り
- ・秋の遠足

三学期

正月遊び

- ・マラソン大会
- ・なわとび大会
- ・6年生お別れ遠足
- ・6年生を送る会

どれもこれも、日頃教室で見られない子ども達の表情がたくさん見られます。

特に、二学期の行事である「コイトり大会」と「伝承遊具作り」は、弁城小学校ならではの行事です。

「コイトり大会」は、池の水を干し、そこで約100匹のコイやフナを手でとるといいうものです。



この時ばかりは、教師も生徒もみんなまっ黒になってコイやフナをつかまえます。子

ども達にとっては、未体験の体験です。

次に、「伝承遊具作り」ですが、これは昨年から始まったもので、コンピュータゲームの時代になった現在、昔の遊びにふれて、そのよさを知ってもらおうと始めました。作るものは、竹馬、竹とん



ば、お手玉、ワラ細工などです。

これらを作りあげたときの子どもの顔はキラキラ輝き、すぐに運動場にとびだし、遊んでみたいと言わんばかりでした。

なお、「伝承遊具作り」につきましても、地元の長寿会の方々に講師になっていただき、子ども達も喜んで教えてもらっています。

このような活動を通し、心

方城中学校

ゆたかな、思いやりの気持ちを持った子どもの育成へ向け、努力しております。

四月 一一八名の新入生をむかえ(全校生徒三六二名)、新学期がスタートしました。残念ながら最近の中学校の例にもれず、本校でも様々な問題をかかえ、悩みはつきません。幸いにも本校PTA教護委員会や、町補導員、その他関係諸団体の皆様方の誠心誠意のお力添えをいただき、本校職員も一丸となって教育活動に邁進しているところです。

今後あらゆる機会に皆様方のお力をお借りしたいです。

五月 三年生は修学旅行に



出発

今年例年の南九州から関西方面に変更し、京都・奈良の文化財を中心に見聞をひろめました。その中でも、奈良の東大寺の大仏の壮大さには特に心を打たれたようです。さらに京都映画村の見学では日常家で見ているテレビ映画の制作過程や実際のロケ現場、セット等を自分の目で確かめることができ、子供たちは大喜びでした。

もうすぐ夏。今、放課後は、中体連「夏の大会」にむけての練習に汗を流す子供たちの明るい声が響いています。又、文化部の美術部では、「郡民体育大会ポスター」の制作に余念がないようです。ブラスバンド部も体育祭、文化祭用の曲目のみならず、十月に宮田町でおこなわれるアンサンブルコンテストにむけて、練習に精を出しています。

このようなお祭り、先日、野球部では「親の会」が発足。部員の保護者の方々に見守られながら、練習にも熱がはいっています。

春の大会では、柔道部が団体三位、個人準優勝一名。サッカー部三位。女子バスケット部の決勝トーナメント進出。又美術部では、虫歯予防ポス

ターに、一位から三位までの入賞者がありました。

夏の大会の予定は次のとおりになっていきます。どうぞ御声援ください。

- (尚、日程・場所には多少の変更がございます。)
- 野球部 7月12・13・20日
- 川崎球場 中央中学
- 女子バレー部 7月21・22日
- 赤池中学 田川総合体育館
- サッカー部 7月20日
- 川崎中学
- 男子バスケット部 7月13・20日
- 香春町体 田川農林高校
- 女子バスケット部 7月13・20日
- 勾金中学 田川農林高校
- 陸上部 6月28日
- 飯塚陸上競技場
- 柔道部 7月23日
- 田川市武道館
- 剣道部 7月13日
- 勾金中学校
- 弓道部 福岡県大会 7月24日
- 久留米弓道場
- 美術部 パードウイークポスター県大会出品、郡民体育大会ポスター制作に入る。
- ブラスバンド部 10月、アンサンブルコンテスト 宮田町文化センター

河川愛護月間にあたって

今年も七月の愛護月間に流域市町村と一体となって河川愛護運動の実施にあたることになりました。そこで、河川流域住民の方々には次のようなことを心がけて頂くようお願いいたします。

- ・各家庭から出す排水に気を配り、野菜くず等を水に流さないこと。
- ・河川にゴミ、空缶、空ビンやし尿等を捨てたり、流したりしないこと。
- ・河川を、みだりに自動車、自転車、商品資材等の置場、作業場又は物干場等にしないこと。

。河川あるいは、河川敷を利用した場合は、紙屑、空缶類のゴミを各自が持ち帰ること。

。堤防等を勝手に削ったり、土管を埋めたり、耕作したりなどしないこと。

。多くの人が、川への親しみ、川を愛する心を育ていくことにより、ふるさとの自然を守りましょう。

建設省遠賀川 工事事務所

楽しい思い出づくりは交通安全から

夏休みの解放感が事故をよぶ

いよいよ子供たちにとって待ちに待った夏休み。海に山に子供たちの歓声があふれる季節です。しかし、夏休みに入ると毎年、子供たちの交通事故が増えています。長い休みの解放感から気持ちのゆるみ、ふだん身につけていた交通安全のルールを忘れがちになるからです。そこでぜひお子さんたちと、交通安全についてもうちど、じっくりと話しあいの機会をもちましょう。

子供の行動特性

大人の理解できない動きをする

子供は、大人が考えつかないような行動をとることがあります。子供、とくに幼児の行動特性を挙げてみましょう。

- ひとつののみに関心が向くと周囲のものが目に入らなくなる。
- 手を挙げれば、クルマは止まってくれるものと思ってしまう。
- 「危ないよ」というような抽象的な言葉だけでは、ほんとうの危険がわからない。
- いつも通る道路では交通ルールを守れても、初めて通る道路では守れない。
- 物かげで遊ぶのが好き。
- 音のする方向を正確に判断できない。

こうした特性を心にとめて自分の子供の個性や心身の発達に応じて、お母さんが具体的に手本を示して指導することが何より大切です。

「命を守るヘルメット」
7月5日から!!
原付運転者のヘルメット着用が義務づけられました。
行政処分点数…1点



田川警察署 交通課
問合せは TEL 42-2120

具体的な指導のポイント

そこでぜひ指導していただきたいポイントを簡単にまとめてみましょう。

- 道路を横断するときは横断歩道では、必ずいったん止まって左右を確認することの大切さを教えましょう。
- 信号が青でも、横断歩道上は左折車や右折車が通ることを教えましょう。
- 自転車の安全な乗り方は道路の左端を正しく走ることと徹底させましょう。
- 自転車の通行できる歩道では歩行者の妨げにならないようを教えましょう。

さらに遊び場までの往復道路は子供と一緒に歩き、横断の仕方や危険な場所を具体的に教えましょう。

車に乗ったら

シートベルトの着用を忘れず

夏は暑さのために子供たちもくたくたに疲れているときがあります。そのため注意力が散漫となり、思いがけない事故につながることもあります。

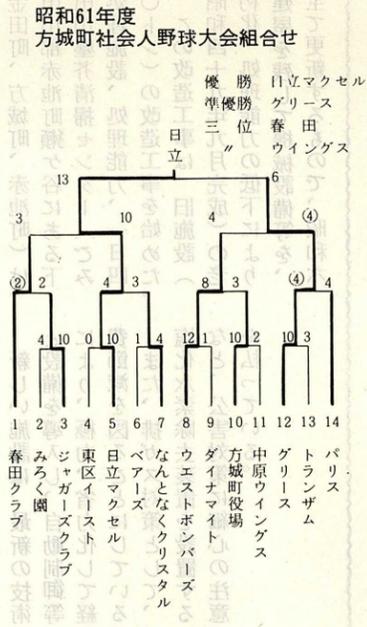
また夏休みは、クルマで帰省したり海・山に行く機会も多くありますが、子供を交通事故から守るためには、シートベルトの着用も心がけたいものです。子供には、後部座席で二点式ベルトを着用させるか、子供用保護装置などを用いるようにしましょう。

楽しい夏休みの思い出をたくさん残すために、ぜひ交通安全についてお考えください。



昭和61年度方城町社会人春季野球大会

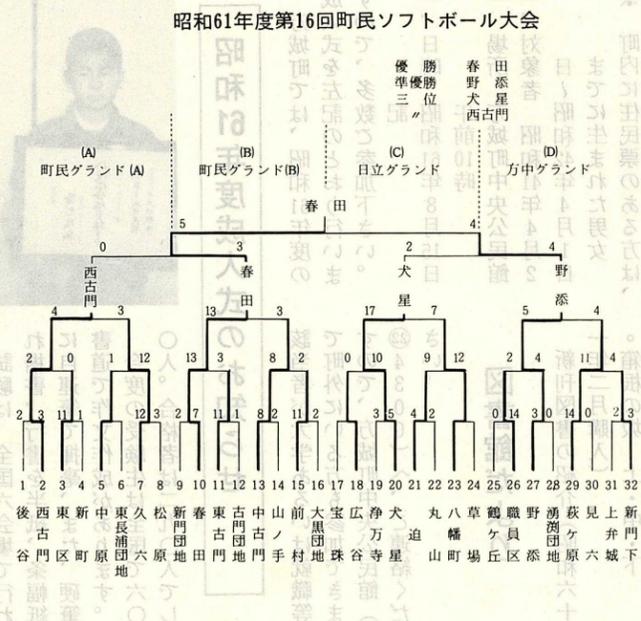
去る5月25日(予選)、6月1日(決勝)の2日間、方城町社会人野球大会が開催されました。それぞれ、職場や地域の人たちで編成した



14チームが参加し、ファイナルの連続の熱戦を展開し、日立マクセルチームがグリースチームを破り優勝しました。結果は次のとおり。

第16回方城町民ソフトボール大会

去る4月13日、方城町民グランド、中学校グランド、日立マクセルグランドにおいて32常会の参加を得て、珍プレー、ファイナルプレーなど、熱戦をくりひろげました。優勝



戦では、野添チームの三年連続なるか、春田チームの悲願の優勝なるか、一点をあらそうゲームとなり、春田が5対4で栄冠を勝ち取りました。結果は次のとおりです。

お礼 長寿会の皆様へ

この度、長寿会の方々の心のこもったたくさんのお品(659枚)をご寄贈いただきました。早速、このことを児童生徒に知らせ、勤労体験学習等で活用させていただきます。児童生徒達も、地域のお年寄りの方々の子供達への暖かい志に感謝し、地域の人々とのつながりに関心を高めていくことと存じます。

今後とも、本町学校教育推進のため、なにかとご支援、ご指導をお願い申し上げます。と共に、児童生徒への激励、ご指導をお願い致します。

方城中学校長 中山 隆
方城小学校長 岡野富司生
伊方小学校長 須山 永春



第10回方城町民剣道大会

去る6月2日、方城町民体育館において、方城町剣友会、方城町教育委員会主催により第10回方城町民剣道大会が開催されました。町内の小・中・高校生、青年の九名編成により、試合を行いました。結果は次のとおりです。

【小学生の部A】
優勝 松井竜司
準優勝 香月美彦
三位 石谷郁子

【小学生の部B】
優勝 出田一忠
準優勝 藤野修司
三位 中山雄介

【中学生の部】
優勝 原田亨
準優勝 藤井浩二
三位 窪井保

【高校生の部】

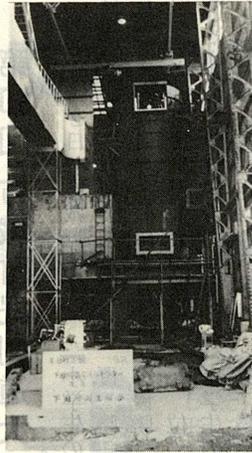
優勝 原田章吾
準優勝 池本雅和
三位 高津暁美

【招待試合】

優勝 方城町A
準優勝 金田町
三位 糸田町、方城町B

お知らせ

下田川塵芥清掃センター
改造工事始まる



○年、六十一年度の二ヶ年継続事業として、国庫補助金、起債（年金積立金還元融資）、町負担金を財源に総事業費四億二千六百五十万円で、

下田川衛生組合（糸田町、金田町、方城町、赤池町）は、田川郡赤池町瀬ヶ谷にある下田川塵芥清掃センター（ごみ処理施設、処理能力、一日四〇トン）の改造工事を始めた。

この改造工事は、旧施設（昭和四十九年九月完成）の老朽化、処理能力の低下により、建屋を残して機械設備等を、全て更新するもので、昭和六

昭和61年度福岡県「婦人の翼」
団員募集について

福岡県主催による婦人の海外研修派遣事業として、「婦人の翼」が次のとおり行われます。

応募を希望される方は、方城町中央公民館までお申込み

- 一、研修国 フランス・スイス・イタリア
- 二、研修時期 昭和61年10月21～11月1日（12日間）

（12日間）

おめでとう

学生書道八段位に四名合格

日本習字教育連盟主催による学生書道八段位（学生最高）



の認定試験が行われ、方城町から四名合格しました。

試験は、全国六会場で行われ楷書、行書を半紙、条幅紙に自運筆で揮毫、また、硬筆書道で作文作成があります。今度の受験生は全国で六〇〇人。合格者は二九〇人です。

昭和61年度成人式のお知らせ

方城町では、昭和61年度の成人式を左記のとおり行いますので、多数ご参加下さい。

- 一、日時 昭和61年8月15日 午前10時
- 二、場所 方城町中央公民館
- 三、対象者 昭和41年4月2日～昭和42年4月1日までに生まれた男女

※ 町内に住民票のある方は、後日、本人あてご案内いたしますが、父母が町内在住者です。

図書館だより

新刊図書を紹介（昭和六十一年二月購入）

- 。箱根の坂 上・中・下
- 。剣客商売
- 。中国五千年 上・下
- 。迷走する中国
- 。不毛地帯

だが、当町から受験した梶原美由紀（東区）、佐藤純子（東区）、榎木梨江（新門）以上中学三年、杵形政弘（春田、中学二年）四人共見事に合格しました。

（敬称略）

- 。青の回帰 上・下
- 。成人病の食事シリーズ
- 。21世紀は警告する
- 。三姉妹探偵団
- 。NHKルーブル美術館他
- 。児童図書も数多く購入しておりますので、ご利用ください。

なお、図書館に対する要望等お寄せください。

- ※読書会員募集中
- 入会金 五〇円
- 月会費 二〇円



報 告
ほうじょう
(148号)
昭和六十一年七月一日発行
発行所 方城町役場
編集総務課
印刷協和印刷